

# 交換留学報告書

\* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

|       |              |            |     |
|-------|--------------|------------|-----|
| 氏名    | 黒枝 音羽        | 学年(渡航時)    | 3 年 |
| 派遣先大学 | ライデン大学       |            |     |
| 国・地域  | オランダ         |            |     |
| 派遣期間  | 2024 年 8 月 ~ | 2025 年 6 月 |     |

## 履修科目

| 1 学期目                                                                                           |                              |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|
| 履修科目                                                                                            | 授業内容                         |
| Beginnerscursus                                                                                 | オランダ語初級の授業。                  |
| Dutch Painting 1400-1950: Introduction to the Art History of the Netherlands, Cultuurwetenschap | オランダを中心としたヨーロッパの絵画や画家の歴史の授業。 |
| Culture and Society of the Netherlands; An Inside View                                          | オランダの文化や社会について学ぶ授業。          |
| 2 学期目                                                                                           |                              |
| 履修科目                                                                                            | 授業内容                         |
| Spoken/Luisteren 1 B                                                                            | オランダ語のスピーキング、リスニングの授業。       |
| Lezen/Woordenschat 1 B                                                                          | オランダ語のリーディング、単語の授業。          |
| Schrijven/Grammatica 1B                                                                         | オランダ語のライティング、文法の授業。          |

## 留学レポート(1,500 字以上)

私は所属する多文化社会学部オランダ特別コースで必修となっているため、オランダのライデン大学に長期留学しました。私自身、長期の留学は今回が初めてでしたが、長期だからこそ現地の生活をより深く知ることができたと感じています。

ライデンはオランダ国内外から多くの学生が集まる学生の街で、運河やレンガ造りの家が並ぶ美しい場所です。アムステルダムまで 30 分弱とアクセスのよい場所でもあります。ライデン大学にはヨーロッパで最初にできた日本学科があり、毎年日本学科の学生が長崎大学に交換留学でやって来ます。長崎で日本学科の学生と言語交換をするなど交流があったため、現地に知り合いも多く、心強かったです。また、日本人留学生には日本学科の先生がバディをつけてくださり、手厚くサポートをして頂きました。バディとは一緒に近くの町に行ったり、年末に食べる定番お菓子の *oliebollen* を作ったり、オランダの家庭料理を食べたりと、様々な経験をさせてもらいました。彼女にはたくさんお世話になり、感謝しています。また、バディから友達の輪が広がり、食事や遊びに行くなど充実した毎日を過ごしました。

学習の面では、オランダ語の授業に加えて、英語でのオランダに関する授業を受けました。オランダ語の授業では、前期に 1 冊の教科書を使ってざっくりとオランダ語を学び、後期に技能別により細かくオランダ語を学びました。定期的に教科書から出題されるテストや膨大な量の単語テストがあり、苦勞することもありましたが、それらを通して確実にオランダ語の力が伸びたと感じています。また、私は英語開講の“Culture and Society of the Netherlands”と“Dutch Painting 1400-1950”という授業も受講しました。これらの授業ではオランダの文化、社会、絵画の歴史を学びました。“Culture and Society of the Netherlands”の授業では多国籍な学生とフォーレンダムという町へ行き、博物館を訪れたり、現地の方にインタビューを行ったりしました。この授業がなければ知り得なかったフォーレンダム歴史や課題を知ることができ、有意義な活動だったと思います。“Dutch Painting”の

授業では、オランダを中心としたヨーロッパの絵画・画家の歴史について学びました。学習量が多い上に、当時のヨーロッパの宗教観を前提とした講義で、難しく感じることも多々ありました。しかし、オランダには美術館が多く、背景を理解しながら絵画鑑賞をすることができたため、この授業を受けて良かったと感じています。

留学中は、日本語学科の授業や日本語補習校で授業のお手伝いなどもしました。日本語補習校では、日本にバックグラウンドを持つ子どもたちが現地で日本語を維持する難しさ、大変さを知りました。その中でも、子どもたちの頑張りや、友達と生き生きと授業を受けている様子にパワーと刺激を貰いました。現地でのボランティア活動は、旅行などでは経験することが難しいと思います。ボランティア活動を通して様々な気づきを得ることができたことも留学をしてよかったと感じる理由の一つです。

オランダではスーパーでの買い物にしても日本と異なり、様々な文化の違いに直面して戸惑うこともありましたが、一つ一つが新鮮で面白かったです。オランダは雨が多いのですが、晴れた日には人々や犬などみんなが外に出て日光浴や散歩を楽しんでいます。授業が終わって外に出ると、カフェで楽しそうに話している学生や仕事終わりの人がいます。晴れた休日には運河でボートに乗って仲間や家族と過ごしている人もたくさんいました。現地に行くことでヨーロッパならではの自由度が高い働き方や、生活スタイルを肌で感じることができました。オランダで多くのことを学び、今回の留学生活は私の人生でかけがえのない貴重な経験となったと実感しています。留学は現実的に難しいこともたくさんあると思いますが、機会があればぜひ多くの方に経験してほしいと思います。

留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



Keukenhof のチューリップ



ライデンの風景



ロッテルダムのキューブハウス



ライデン大学のリブシウス棟



ハーグの美術館にある『真珠の耳飾りの少女』